

ゆうこう便り

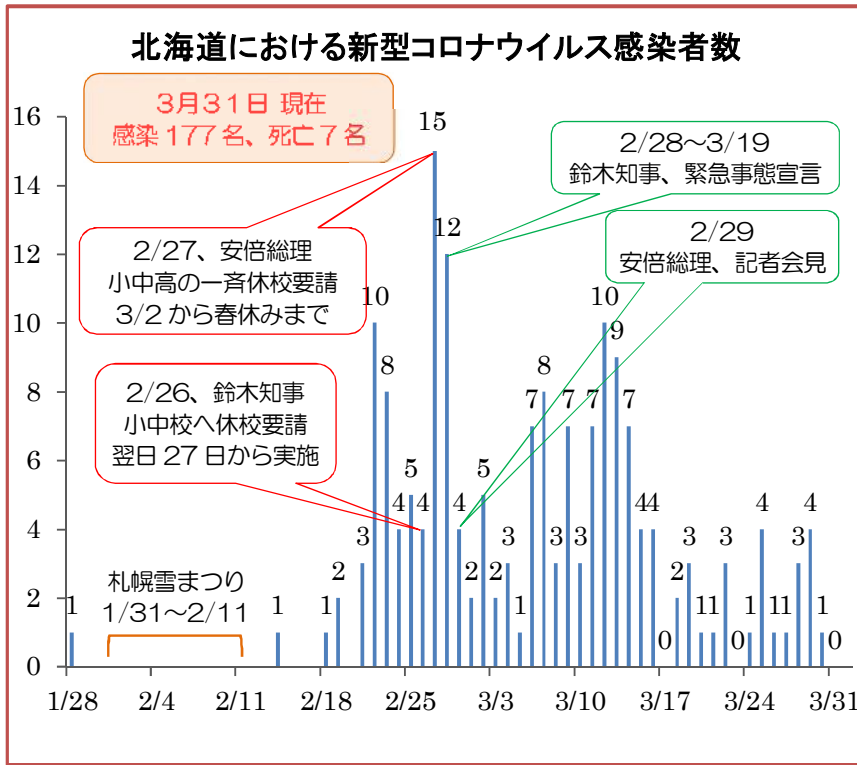
発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

新型コロナウイルス猛威

影響は全世界でリーマンショック以上!

雪まつりで拡大か

北海道において新型コロナウイルスに感染した患者が発生したのは、1月28日に中国武漢市から来た女性です。その時すでに中国では世界初の死亡者も出るな



道発表で混乱

北海道内で最初の感染者が確認されたのは2月14日。この時鈴木知事は道内出張

ど、その猛威は世界中に広がる兆候を示していました。この間、札幌市では恒例の札幌雪まつりが開催され、昨年よりも減少したものの202万人が来場しました。

道内観光への影響(北海道試算)

2020.3.16 北海道経済部発表

- 影響の試算(影響が6月まで続いた場合)
- 宿泊延べ数の減少 <北海道全体> 約900万人泊
- <うち札幌市> 約350万人泊
- 影響額 <北海道全体> 約3000億円
- <うち札幌市> 約1200億円
- 日帰り旅行の影響 【人数:850万人、680億円】
- 観光バスの影響 【延べ約11万台分の利用減少】

突然の休校要請

鈴木知事は、2月26日に突然北海道内すべての小中学校に一斉休校を要請。

厳しい北海道経済

さらには、28日には緊急事態宣言を発し、不要不急な外出を控えるよう訴えました。しかし、この緊急事態宣言は、法的根拠や科学的知見に基づいたものではなく、その発表による影響を想定し、その影響を低減する対策も同時に行うべきであったと考えられています。

道は、この状況が6月まで続けば、宿泊者で約900万人泊分が減少し約3000億円が影響すると試算。さらに日帰り旅行で680億円の影響を受け、その合計は3680億円と発表。この影響額は、2年前の北海道胆振東部地震による被害額の10倍にあたるのです。しかし今回の試算には、道民の日常生活生活による自粛による影響は加味されておらず、これから人事異動が多くなる時期で、そのことによる歓送迎会などの影響を受ける飲食店関係の分は含まれていないのです。

第1回定例道議会報告(2月27日~3月25日)

コロナで議論不十分

第1回定例会は、2月27日(木)に開会、令和2年度予算や受動喫煙防止条例、ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議などを可決し、3月25日(水)に閉会しました。

今議会での最大の課題は、新型コロナウイルスへの感染防止ではありませんが、そのほかキタテミイ賞問題や用地取得業務における公金不適切事務処理、行財政運営、カジノを含むIRへの対応、幌延深地層研究計画延長問題、JR北海道路線

第1回定例会で可決された令和元年度予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,877,133,642	1,146,233,354	4,023,366,996
冒頭補正額	156,063,801	0	156,063,801
最終補正額	△ 54,336,800	2,402,808	△ 51,933,992
コロナ補正額	1,619,004	0	1,619,004
合計	2,980,479,647	1,148,636,162	4,129,115,809

第1回定例会で可決された令和2年度予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
当初予算額	2,820,093,185	1,112,048,152	3,932,141,337
コロナ補正額	26,115,289	0	26,115,289
合計	2,846,208,474	1,112,048,152	3,958,256,626

維持問題などなど、多くの課題が山積する議会でもありました。しかし、新型コロナウイルスにより議会日程も大きく変更し、一般質問を取りやめ、予算特別委員会も縮小しての議論となり、十分な議論ができずに閉会となりました。

忬度?キタテミイ賞

高橋はるみ前知事の指示でスタートした北海道命名150年記念事業「キタテミイ賞」は、当初、制作運営会社への委託経費を900万円と見込んでいましたが、制作運営会社からは4870万円の概算見積りもの提示があったものの、具体的な運営費用の合意や契約がな

いまま開催を強行。イベント実施後には、当初の見積りよりも増額された6458万円の提示があり、結果として折り合いが合わず裁判所の調停に持ち込まれ、2805万円を支払う調停を受け入れる議案を道議会に提案をしました。

未契約でイベント実施

この問題では、制作会社から当初予算を大幅に上回る経費を伝えられていたにも関わらず、①なぜ合意に至らぬままにイベントを開催したのか、②なぜ契約書を交わさずイベントを実施したのか、③なぜ実行委員会長らに予算超過の報告をしなかったのか、などさまざまな問題が改めて浮き彫りとなりました。

私たちは、熟慮を重ねた結果、調停案に関する議案には賛成をしましたが、引き続き、知事や幹部職員の責任のあり方や問題点の解明を行っていかねればなりません。何よりも、公金の取り扱いには厳格さが求められることは言うまでもなく、その原則と基本を怠ったことが問題の根底にあると考えます。

コロナ補正は27億円

北海道は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と医療提供体制の強化、道内経済や道民生活への影響緩和対策として、25日の最終日に、令和元年度一般会計補正予算に16億円、令和2年度一般会計補正予算に261億円、合わせて約277億円の補正予算案が提案され、全会一致で可決しました。

一方、外国客の減少や休校に伴う雇用や所得の低下、さらには自粛などの影響による厳しい経済対策については、現在政府において補正予算を検討していることから、今後の臨時議会などで対応していかねばなりません。

採択された決議・意見書

◆ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議 ●新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書 ●中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書 ●地球温暖化対策の推進を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



名寄駐屯地新年交礼会であいさつ(1月5日)



恒例の国道道政市政新春街頭報告会(1月2日)



北海道林業人新年交礼会(1月7日)



士別市消防出初式であいさつ(1月6日)



道北歌謡研究会新年交礼会(1月19日)



連合上川地協旗開きでの鏡開き(1月9日)



剣淵農民連盟定期総会(2月17日)



和寒町農民連盟定期総会(2月3日)



← 士別地区連合会定期総会であいさつ(1月23日)
→ 環境生活委員会にて広島原爆ドームを視察(1月23日)



北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kiaguuchin.net/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(1月～3月分)

◆1月5日【占冠消防出初式】

▼今日は占冠消防の出初式に参列▼朝早くに自宅を出発し占冠に向かう。そんなに雪も降っておらず、順調に3時間ほどで到着▼このような状況での占冠消防の出初式では、35名の職員の力がぎびぎびした整列に始まり、式典では永年勤続表彰を受けられた隊員に表彰状が贈られ、これから訓練



占冠消防出初式であいさつ

を通じて、地域住民の安全安心を確保していただくようお願いいたしました。

◆1月25日【JR労組団結大運動会】

▼今日午前には、JR北海道労組宗谷支部(谷川明宏執行委員長)の「団結!大運動会2020」に参加した▼今年は、JR北海道の路線維持問題の正念場。新たな支援のあり方を求めるためにも組合員が



JR北海道労組宗谷支部の大運動会

一致団結する事が大事だ。大運動会でいい汗を流し、鉄路を残すための団結を確認できたところだ。

◆1月26日【土別農連定期総会】

▼今日は、土別農民連盟(沼館初男執行委員長)の第72回定期総会に出席。総

土別農民連盟定期総会



土別農民連盟の定期総会であいさつ

会の冒頭、沼館委員長からは「農連運動は、価格闘争から政策提言運動に変わってきた。だから政治との関わりは強くなっており、選挙闘争も重要な課題だ」と、農連と政治闘争の関連性を話され、「拙速な日米貿易協定に抗議する特別決議」を採択したところだ。

◆1月31日【現地監査in釧路】

▼今日は釧路市での現地監査日である。まずは釧路コールマイン株式会社を訪問。会社概要と採炭状況などの説明を受け、現地の採炭現場には時間の関係で行けなかったが、坑道に降りるトロッコ列車には乗せていただいた▼視察後は釧

路総合振興局に移動し、振興局長から釧路管内の概況説明を受け、その後の監査では、指摘事項を数点お話し、改善を求めたところだ。



現地監査で釧路コールマインを視察

◆2月14日【土別市消防協40周年】

▼今日の夜には、土別市消防職員協議会(鈴木哲志会長)の結成40周年記念式典及び祝賀会に出席。



土別消防協40周年記念式典であいさつ

消防職員の皆さんは、日々住民の安全安心及び生命財産を守っており、今後の労働環境の整備と消防資機材の確保などの課題について意見交換を行い、その後懇談を図ったところだ。

【つぶやき】

▼「どっか佐川さん、改ざんの経緯を、本当のことを話して」。「森友学園」の国有地売却問題を担当していた元近畿財務局に勤務する赤木俊夫さんが自殺に追い込まれたのは、佐川宣寿元国税庁長官の指示で決裁文書改ざんを強制され精神的に追い詰められたためとして、赤木さんの妻が国と佐川氏に損害賠償を求めて大阪地裁に提訴した。これを受けてもお、安倍総理や麻生大臣は、再調査の考えはないという▼北海道でも2年前、北海道命名150年という節目に、当時の高橋知事がイベント開催を指示。担当者は、責任感に加え、前知事の肝いりのイベントということもあり、制作運営会社との契約を行わずイベントを実施した。トップの発言は絶対という雰囲気がある行為を行わせたのではないのか。そうであれば、当時の知事としてもその責任の一端はあると思うのは、私だけではないと思うが...

(ゆうこう)